

## 白木屋文書目録について

東京大学経済学部図書館には、正確な年次は定かでないが、土屋喬雄名誉教授が日本経済史担当教授であられた頃から、白木屋文書が所蔵されている。貴重な文書であるにもかかわらず、利用されることがほとんどなかった同文書は、解題をお願いした林玲子氏（流通経済大学教授）が、本学大学院在学中に縦横に利用・分析して

『江戸問屋仲間の研究』のなかで紹介されたことを契機に、広く学界の注目を集めるようになり、閲覧希望者が増えてきた。

文書を利用する前提として、正確な目録が必要であることは言うまでもない。しかし、これまでの経済学部図書館は、刊行された図書や雑誌などの収集・整理・閲覧サービスなどに手一杯の状況で、白木屋文書のような第一次資料の整理や目録作成にはなかなか着手できなかった。そこで、経済学部付属の日本産業経済研究施設のプロジェクトとして、東京大学経済学振興財団からの援助を受けつつ、古文書整理の作業を手がけることとし、まず白木屋文書の整理とカード作成を行ない、その後は学部図書館の予算によって山城国大庄屋浅田家文書についても整理を進めてきた。幸い昭和60年度には文部省より特定研究経費の援助をいただくことができたので、武田晴人助教授の協力をえて、文書研究の基礎作業の一部として白木屋文書目録を作成することとしたのである。

目録カードをコンピューターに打ち込むといった手間のかかる作業の多くは武田助教授の指導のもとで植田明美氏が担当した。また、林玲子教授は、専門家の立場から目録作成について細い点まで指導・協力して下さった上、解題までお寄せいただき、感謝のほかはない。さらに、古文書の解説・整理という地味な仕事を今日までたゆまず続けて下さっている小川幸代氏に対しても厚くお礼申し上げます。

1986年3月1日

東京大学経済学部教授 石井寛治